

愛知県保険医協会

学生会員ニュース No.57

発行：愛知県保険医協会

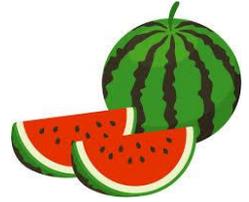
住所：〒466-8655名古屋市昭和区妙見町19-2

TEL：052-832-1345 FAX：052-834-3512

ホームページ <https://aichi-hkn.jp/> e-mail aichi-hkn@doc-net.or.jp

【学生会員のみなさんへ】

毎日暑いですね。熱中症にはくれぐれも気をつけてお過ごしください。
今回はキムリアなど高い薬が出てきていますが、薬価はどう決まるのか、保険制度への影響などについて取り上げました。ぜひご覧ください。



薬価算定過程はブラックボックス

5月15日の中医協（中央社会保険医療協議会）では再発・難治性の白血病などに対するCAR-T細胞療法を利用したキムリア（ノバルティスファーマ）を3349万3407円で健康保険の適用とすることが了承されました。

難治性白血病の小児患者の5年生存率が低い日本で、CAR-T細胞療法により命が救われる患者が増えることは大変喜ばしいことです。しかしバイオ新薬の超高薬価は、特許や開発企業の買収コストを薬価に反映させるため、巨大製薬企業によるマネーゲームの結果生み出されているとの指摘もあります。新薬の薬価算定過程での審議が非公開で議事録も作成されておらず、製造総原価の内訳も十分な公表がされていません。キムリアは、米国では約5000万円と超高額な価格が付けられています。今回ノバルティスファーマが薬価算定案を作成する国に示した資料（非公開）では、特許・原材料・製造・開発費などの各種コストの内訳などの情報の開示度が、最低ランクの50%未満と判定されています。薬価算定にかかわった中医協委員からも薬価算定過程がブラックボックスだとの批判が出されています。

名古屋大学では、より安価な治療を開発

名古屋大学小児科では製造法の工夫により、より安価なCAR-T細胞の開発に成功、約100万円です臨床応用されています。名古屋大学名誉教授の小島勢二先生は、CAR-T細胞の原価が高額とは言えず、米国などと比べてより安価で安全に提供できるとする名大の研究成果を報告しています。

最先端の医療は誰でも平等に。高薬価の是正へ

キムリアの日本での適用患者数は推定250人とされ、高額な薬価が保険制度に与える影響は限定的と言われています。しかし、オプジーボと同様に、その適応疾病の拡大も見込まれます。この間の医療費の伸びの多くが新薬の高薬価による薬剤費となっています。

高額な治療費は、必要な患者へ治療を届ける障壁となり、超高額薬剤は保険財政を圧迫します。保険医協会は、最先端の医療が誰でも平等に受けられるために、薬価算定のプロセスの透明化と高薬価の是正を求めています。

学生会員ニュースの
バックナンバーはこ
ちらから ↓

